

イブプロフェン・ビタミンC配合
総合かぜ薬

第2類医薬品

シオノギ総合かぜ薬IB錠

シオノギヘルスケア

<かぜ>にかかると、のどの痛み、発熱、せき、たん、鼻みず、鼻づまりなどさまざまな症状をとまいます。シオノギ総合かぜ薬IB錠は、痛みや熱にすぐれた効果を発揮するイブプロフェン、せきをしずめるジヒドロコデインリン酸塩、さらに生薬成分であるカンゾウ乾燥エキスやかぜの時に消耗しやすいビタミンCなど8種類の成分を配合した総合かぜ薬です。



使用上の注意 ……

してはいけないこと



(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故がおこりやすくなります)

- 次の人は服用しないでください
(1) 本剤または本剤の成分によりアレルギー症状をおこしたことがある人
(2) 本剤または他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくをおこしたことがある人
(3) 15才未満の小児
(4) 出産予定日12週以内の妊婦
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないでください
他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬など(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬など)
- 服用後、乗物または機械類の運転操作をしないでください(眠気などがあらわれることがあります)
- 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください
- 服用前後は飲酒しないでください
- 5日間を超えて服用しないでください



相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師または登録販売者にご相談ください
(1) 医師または歯科医師の治療を受けている人
(2) 妊婦または妊娠していると思われる人
(3) 高齢者
(4) 薬などによりアレルギー症状をおこしたことがある人
(5) 次の症状のある人
高熱、排尿困難
(6) 次の診断を受けた人
心臓病、緑内障、肝臓病、腎臓病、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病、呼吸機能障害、閉塞性睡眠時無呼吸症候群、肥満症
(7) 次の病気にかかったことのある人
胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン氏病
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者にご相談ください

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、青あざができる
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃痛、胃部不快感、口内炎、胸やけ、胃もたれ、胃腸出血、腹痛、下痢、血便
精神神経系	めまい
循環器	動悸
呼吸器	息切れ
その他	目のかすみ、耳なり、排尿困難、むくみ、鼻血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、出血、背中への痛み、過度の体温低下、からだがだるい

まれに下記の重篤な症状がおこることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁などがあらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、中毒性表皮壊死融解症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤などが持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振などがあらわれる。

(裏面に続く)

腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢などがあらわれる。
無菌性髄膜炎	首すじのつっぱりをともなった激しい頭痛、発熱、吐き気・嘔吐などの症状があらわれる。（このような症状は、特に全身性エリテマトーデスまたは混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている。）
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱などがみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る。息苦しいなどがあらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿などがあらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛みなどがあらわれる。
呼吸抑制	息切れ、息苦しさなどがあらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続または増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者にご相談ください

便秘、下痢、口のかわき、眠気

4. 5～6 回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者にご相談ください
（特に熱が3日以上続いたり、また、熱が反復したりするとき）

…… 効能・効果 ……

かぜの諸症状（のどの痛み、発熱、せき、たん、鼻みず、鼻づまり、くしゃみ、悪寒、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和

…… 用法・用量 ……

次の量を食後なるべく 30 分以内に、水またはぬるま湯でおのみください。

年 齢	1 回量	1 日服用回数
成人（15 才以上）	3 錠	3 回
15 才未満	服用させないこと	

●定められた用法・用量を厳守してください。

●錠剤の取り出し方

右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り、取り出しておのみください。（誤ってそのまま飲み込んだりすると、食道粘膜に突き刺さるなど思わぬ事故につながる場合があります）

錠剤の取り出し方

指で押し出す



取り出しのおむこ

…… 成分・分量 ……

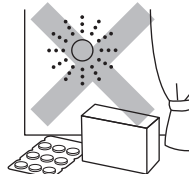
シオノギ総合かぜ薬1B錠は、淡黄色～黄色のフィルムコーティング錠で、9 錠（成人 1 日量）中に次の成分を含有しています。

成 分	含量（9 錠中）	はたらき
イブプロフェン	450mg	痛みをおさえ、熱を下げる
ジヒドロコデインリン酸塩	12mg	せきをしずめる
カンパウ乾燥エキス （原生薬換算 950mg）	190mg	たんの切れをよくする
グアヤコールスルホン酸カリウム	250mg	たんの切れをよくする
ジフェニルピラリン塩酸塩	4mg	くしゃみ、鼻みず、鼻づまりをおさえる
無水カフェイン	75mg	痛みをおさえるはたらきを助ける
アスコルビン酸カルシウム	500mg	かぜのときに消耗しやすいビタミンCの補給
ヘスペリジン	90mg	ビタミンCの吸収を助ける

添加物として トウモロコシデンプン、軽質無水ケイ酸、アルファー化デンプン、低置換度ヒドロキシプロピルセルロース、タルク、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、マクロゴール 6000、酸化チタン、黄色三산화鉄を含有しています。

…… 保管および取扱い上の注意 ……

- （1）直射日光の当たらない湿気の少ない、涼しい所に保管してください。
- （2）小児の手の届かない所に保管してください。
- （3）PTPシートから出して他の容器に入れ替えないでください。
（誤用の原因になったり、品質が変化します）
- （4）使用期限をすぎた製品は、服用しないでください。



…… お問い合わせ先 ……

本品についてのお問い合わせは、お買い求めの店、または下記までお願いいたします。

シオノギヘルスケア株式会社「医療情報センター」

電話：大阪 06-6209-6948、東京 03-3406-8450

受付時間：9時～17時（土、日、祝日を除く）

「副作用被害救済制度」について

（独）医薬品医療機器総合機構

http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html

電話 0120-149-931（フリーダイヤル）

®：登録商標

販売元

シオノギヘルスケア株式会社

大阪市中央区北浜2丁目6番18号

製造販売元

ダイト株式会社

富山県富山市八日町326番地